



岩木川・馬淵川で “重要水防箇所”を合同巡視!



地域住民や水防団等、176名が参加

洪水被害の防止・軽減する事等を目的とした岩木川水系・馬淵川水系の各洪水予報・水防連絡会では、洪水の際に特に注意を要する重要水防箇所について、本格的な出水期を前に、行政機関と地元水防団、地域住民及び防災エキスパートと一緒に合同巡視を行いました。

岩木川下流（五所川原出張所管内）は7月9日に74名参加、岩木川上流（藤崎出張所管内）は7月5日に67名参加、馬淵川（八戸出張所管内）は7月17日に35名参加のもと、各管内の出水に備えて、洪水予報及び水防に関する連絡・調整事項の確認を行いました。

▼岩木川下流7/9▼
(74名参加)

▼岩木川上流7/5▼
(67名参加)

▼馬淵川7/17▼
(35名参加)



「重要水防箇所」とは、河川の堤防高や堤防断面の不足、漏水や法崩れの危険がある箇所など、洪水時の水防活動を行う上で、特に注意しなければならない箇所であり、あらかじめ把握しておくことで、効率的な堤防の点検、危険の早期発見につながり、迅速な水防活動を行うことができます。このため、毎年、本格的な出水期を前にしたこの時期、関係機関が合同で巡視を行い、「重要水防箇所」を確認し、情報を共有しています。